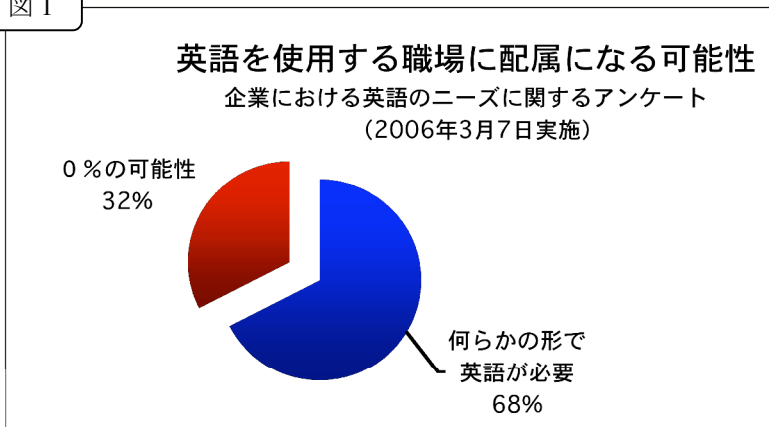
群馬大学工学部
Barry Keith
keith@eng.gunma-u.ac.jp

工学研究科における英語教育：
カリキュラム構築へのニーズ分析と英語プロルラムの提案

１．　英語１・２年（教養教育）の授業について

２．　ニーズ分析：大学のニーズと社会のニーズ

① 大学院生と教員の意識調査
1. 「英語が大変重要」院生 67%　教員 86%
2. 「読解、論文作成、発表」が中心

② 企業合同説明会のニーズ調査
1. 「新規採用者は入社直後に英語を使用するか」　図１
2. 「その職場は何の為に英語を必要としているか」図２

３．　大学院の英語カリキュラム集中講義の設置及び英語の環境づくり

① 短期セミナー
1. ティームティチング（専門教員と語学教員が協力）
2. 少人数（15〜20 名）
3. 夏期休暇などを利用
4. 集中的に授業を行う

② セミナー内容（モジュール制）
1. ポスターと模擬プレゼンテーション
   ① 自らの研究テーマを発表
   ② コンペティションの開催
2. Writing
   ① Abstract や Short Communication の作成、演習

③ 大学内での英語に親しむ環境づくりについて